

花角知事様

柏崎刈羽原子力発電所 6号機の再稼働に関する要望書

2026年2月6日

柏崎刈羽原発再稼働を再稼働させない会・村上
共同代表 瀬賀美奈子 中倉睦子

花角知事、

私たち県民はこの大雪のなか「柏崎刈羽原発6号機に不具合が起きたら」と心配で、6号機が停止して心底ほっとしていましたが、2月9日には再稼働の予定という報道に驚いています。

東京電力は安全性を強調する発言をしてきましたが、制御棒の作動装置の故障など、緊急の事態に対する処置が万全に行われるとはとても確信が持てません。

昨年6月から5回のトラブルを起こしている6号機の制御棒は、大きな欠陥を抱えているおそれもあります。制御棒駆動機構の故障は核反応を制御する極めて重要な装置の機能喪失をも意味します。

- ①2025年6月30日 制御棒1本を引抜く際、電動機が動かなかった
- ②2025年8月25日 制御棒1本を引抜く際、部品が引っ掛かり動かなくなった
- ③2026年1月14日 制御棒を引抜く際に警報が鳴った
- ④2026年1月17日 制御棒を引抜く際に鳴るべき警報が鳴らなかった 1/18 東電発表
1/20 再稼働延期。 1/21/14 時規制庁再稼働承認、19時14年ぶり再稼働。
- ⑤2026年1月22日 制御棒を引抜く際に警報が鳴った。
1/22/15 時原子炉の停止判断。 1/23 午前0時過ぎ原子炉停止

このような停止判断に問題はなかったのかも検証すべきではないかと考えます。

原子力規制委員会は新規性基準に通ってもそれで原発が安全であるとは言えないことを歴代の規制委員会委員長が繰り返し発言をしています。現在の規制委員会の評価や柏崎刈羽原子力発電所を運転する技量が県民から見てもこのまま再稼働したらとても安全性を確保できるとは思えないのです。

また、東京電力の説明は、事故の想定が極めて甘いため、あたかも避難が十分可能で大規模な被害など起こらないかのような宣伝をし続けています。地震や津波は大きな脅威ですが、事故は自然現象や外部からの攻撃のほかに、機器や配管等の故障が原因で、大事故に発展することがあります。福島事故も、自然現象が原因でしたが、それを大規模な事故にさせたのは、冷却系統や閉じ込め機能などの安全装置が機能しなかったことにもよります。万一事故が起きた場合の責任はだれがとるのか、その賠償はだれが払うのかも明確でない状態です。別紙の報告にある専門家のコメントで終了させてはいけません。

花角知事、新潟県独自のアプローチをしてください。

記

- (1) 6号機の再稼働について安全確認、検査を規制委員会に強く求め強く求めます。
- (2) 技術委員会を開催して、制御棒駆動機構の故障原因・停止判断の理由など究明してください。以上

回答は2月20日までをお願いします。

- ・制御棒引抜防止機能に関する設定誤りの事案、起動工程全体の流れを確認
- ・原子炉起動操作（制御棒引抜）の状況を確認

県のホームページに記載された専門家のコメント

- 1 日時 令和8年1月20日（火） 13時40分～16時20分
- 2 確認者 新潟県、柏崎市、刈羽村 小原徹 技術委員会座長、
長家康展（ながややすのぶ）新潟県原子力発電所周辺環境評価会議
- 3 内容 17日に発生した、制御棒引抜防止機能に関する設定誤りの事案、起動工程全体の流れを確認

専門家のコメント

- 小原 技術委員会座長 制御棒の設定誤りの事案を受け、一旦立ち止まり、迅速かつ組織的に対応したこと、公表を行ったことは評価できる。東京電力には、今回の事案をきちんと教訓にして、再発防止に努めてもらいたい。
- 長家 評価会議委員 制御棒の設定誤りの事案については、若手職員が気がついたとのことであり、安全管理や人材育成がしっかりととられていることを確認できた。

6号機起動工程に係る状況確認の結果

- 1 日時 令和8年1月21日（水） 17時00分～21時15分
- 2 確認者 新潟県、柏崎市、刈羽村 小原徹 技術委員会座長 中島健 技術委員会委員
長家康展 新潟県原子力発電所周辺環境評価会議
- 3 内容 原子炉起動操作（制御棒引抜）の状況を確認

専門家のコメント

- 小原 技術委員会座長：本日の起動工程について、運転員が真摯に取り組み、確実に操作をしていた。プラントパラメータも正常で、問題となる点は無かった。引き続き、安全意識、緊張感を持って、しっかり対応していた だきたい。
- 中島 技術委員会委員：非常にスムーズに、命令系統に基づき確認しながら作業が進められていた。運転員が若い方々で、これからの原子力の人材育成 や、技術継承をしっかりとやっていくという東電の気持ちが表れていた。これから出力を上げていく段階でも、焦らず、一歩ずつ進めて欲しい。
- 長家 評価会議委員：排気筒モニタ、海水モニタ、モニタリングポストの値などに、問題がないことを確認した。制御棒引抜作業も問題なく進められていた。これからも、着実に、安全を第一に進めていただきたい。